

第22号



まちづくりは、あなたと私で

市 自 公 連 だ よ り

筑紫野市自治公民館連絡協議会

■発行元 筑紫野市自公連事務局 ■☎818-0057 福岡県筑紫野市二日市南 1-9-3

■発行責任者 会長 中野 二郎 生涯学習センター内 ☎ 092-918-3535

役員の
ことば

地域課題解決に向けて連携の強化を！

各地域においては、地域行事を始めとして、防犯・防災活動、環境問題、子ども・高齢者等への福祉活動に対する地域内の連携強化や人材育成、さらには、自治公民館運営のあり方など様々な地域課題が報告されています。

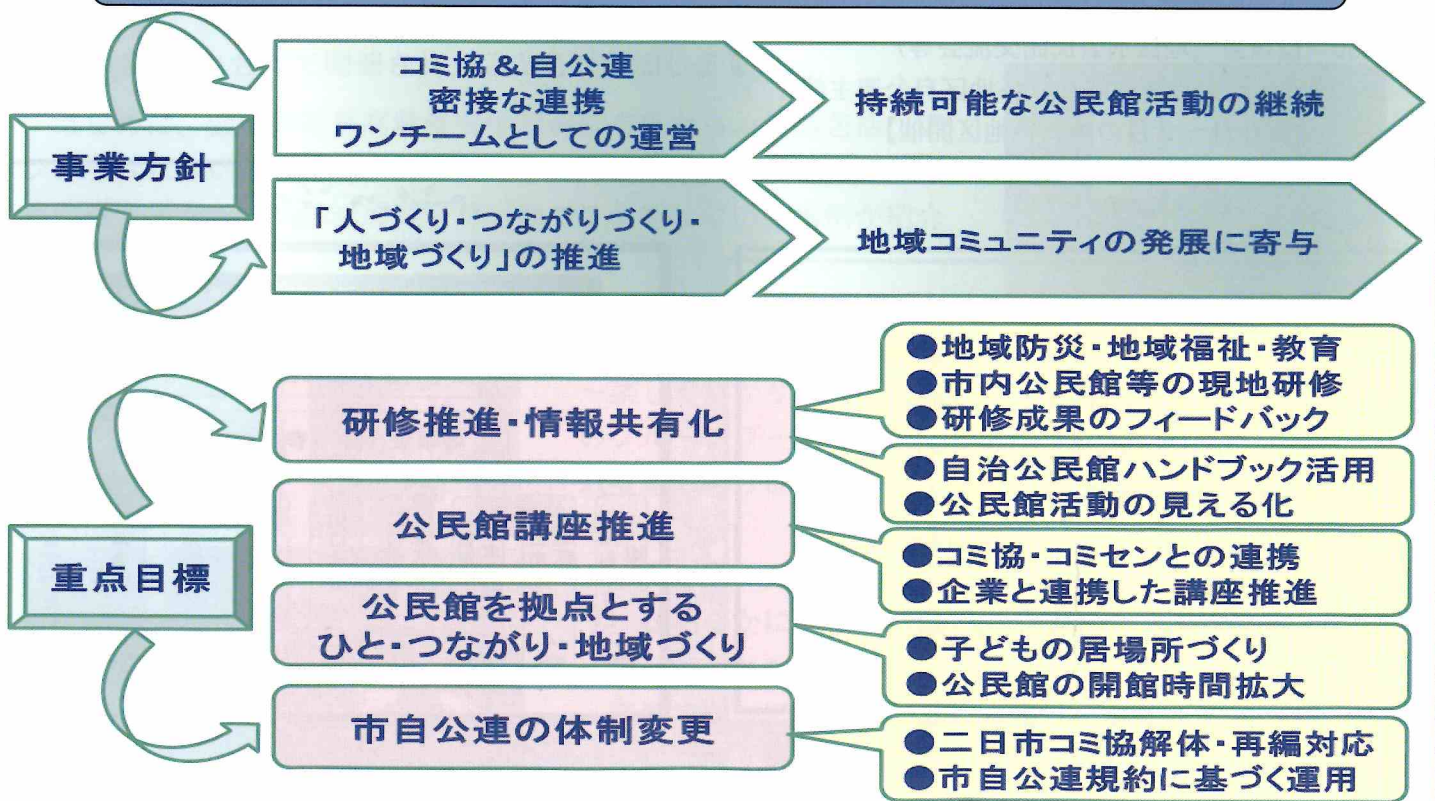
私たち市自公連におきましては、これらの地域課題の解決と地域活性化に貢献するために、皆様からの情報を受け、それに関連する様々な研修・学習会等を開催し、各自治公民館が地域に密着した持続可能な重要な拠点となるよう、コミ協と自公連の密接な連携強化の下、ワンチームとしての事業運営に努めて参りたいと思っております。

尚、令和8年度より二日市コミュニティ運営協議会の解体・再編（二日市⇒二日市わがまち・二日市北・天拝ふるさと）に伴いまして、7コミから9コミへと新体制でスタートしております。連携強化に向けて、皆様方のさらなるご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



筑紫野市自治公民館連絡協議会副会長
満生 豊光（山家6区公民館 館長）

令和8年度 筑紫野市自公連事業方針・重点目標



筑紫野市自公連定期総会

令和8年5月9日（土）13時30分から
生涯学習センターさんあいホールにおいて市自治
公民館連絡協議会定期総会が開催されました。



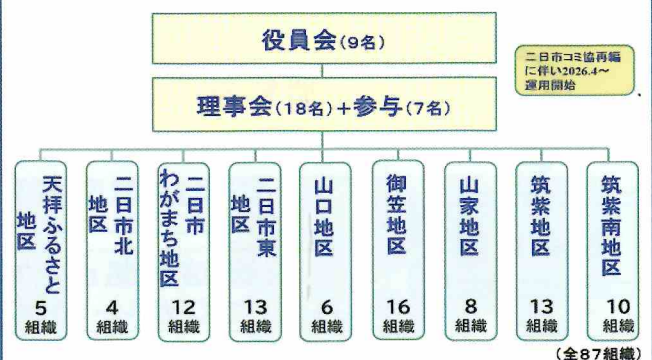
事業報告・決算・事業計画・予算に加え、二日市コミュニティ運営協議会の解体・再編
に対応した市自公連規約に基づく9コミュニティ体制の新しい役員・理事等の選任（案）に
関する議案が提案され、すべての議案が承認されました。（参加者：179名）

令和8年度主要事業計画

- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| 4/3 会計監査（7年度分） | 11/14 市内公民館等研修ツアー |
| 4/10 役員会（総会等） | 11/19・20 |
| 4/17 理事会（総会等） | 九州地区公民館研究大会 |
| 5/9 筑紫野市自公連定期総会 | 〈九州公民館連合会主催合同研修〉 |
| 6/20 館長・主事等研修会（テーマ：地域防災） | 11/27 理事会（地区別公民館交流会等） |
| 7/3 役員会（推進大会等） | 1/22 福岡県公民館実践交流会（県公民館連合会主催） |
| 7/10 理事会（推進大会等） | 2/12 役員会（総会等） |
| 8/7 福岡県公民館大会 | 未定 福岡地区公民館研修会＜福岡地区当番研修＞ |
| 9/11 役員会・理事会（推進大会準備等） | 3/12 理事会（総会等） |
| 10/3 推進大会（テーマ：地域福祉） | |
| 10/30 役員会（地区別公民館交流会等） | |
| ・地区別公民館交流会（各地区自公連主催） | |
| 【10月～2月の中で各地区開催】 | |

- * 10月～2月の中で、地区別公民館交流会を実施予定
- * 必要に応じて、随時、役員会を追加開催予定
- * 理事会等において、随時スキルアップ研修開催予定
- * 定期的に、自公連活動紹介の情報誌等発行予定
- * 市内の参考事例公民館等の研修ツアー予定
- * 随時、公民館ハンドブック（公民館関連情報共有化）
更新、ホームページ掲載予定
- * 随時、企業と連携した公民館出前講座開催予定

「筑紫野市自治公民館連絡協議会」組織



令和8年度筑紫野市自公連役員・理事紹介

会 長 中野 二郎 （松ヶ浦館長）
 副会長 天原 哲則 （常松館長）
 副会長 満生 豊光 （山家6区館長）
 代表理事 石内 繁実 （萩原館長）
 代表理事 萩尾 茂俊 （若葉中原/若葉館長）
 代表理事 田原 すま子 （中央区館長）
 代表理事 大庭 浩二 （大門館長）
 事務局長 中野 みほ子 （美しが丘北館長補佐）
 会 計 中島 敏郎 （天山館長）
 理 事 尾上 登士夫 （天拝坂主事）
 理 事 平野 賢一 （六反主事）
 理 事 松永 富美子 （曙町主事）
 理 事 市丸 裕子 （若葉中原/中原主事）
 理 事 尾中 健一 （萩原主事）

理 事 長谷 裕之 （柚須原館長）
 理 事 今村 一彦 （永岡主事）
 理 事 森高 伸子 （美しが丘南主事）
 理 事 平山 淳子 （山家2区主事）
 参 与 川口 隆 （生涯学習課長）
 参 与 柴田 昭雄 （二日市コミュニティセンター館長）
 参 与 桑野 晋一 （二日市東コミュニティセンター館長）
 参 与 雪竹 裕子 （山 口コミュニティセンター館長）
 参 与 白水 哲也 （御 笠コミュニティセンター館長）
 参 与 吉開 和子 （山 家コミュニティセンター館長）
 参 与 野田 清仁 （筑 紫コミュニティセンター館長）
 参 与 江崎 雅彦 （筑紫南コミュニティセンター館長）
 会計監査委員 船越 龍二 （平等寺館長）
 会計監査委員 五郎丸 美子 （旭東/旭町館長）

地区別公民館交流会



山家コミュニティセンター

山 家 地 区

1月17日（土）、「地域包括支援システム・支え合いの推進」をテーマに、山家コミュニティセンターにおいて、山家地区自公連と山家コミュニティ運営協議会福祉部と合同で開催され、71名が参加しました。

はじめに、健康福祉部高齢者支援課森紘志氏から、地域包括ケアシステムについての講話があり、その後、山家中央区福祉委員の瀬戸口雅子氏から、高齢者の見守り活動で工夫をしている事例が紹介されました。



次に、「山家の魅力再発見！

～楽しく繋がり安心して暮らせる山家～」をテーマに区ごとのグループワークを実施、各区の現状ややってみたいこと、取り組みそうなこと等を付箋紙に書き、模造紙に貼っていきしました。

意見を書いた付箋紙が増えていくうちに、地域の課題がより一層明らかになり、今後の取り組みを具体的に考える有意義な交流会となりました。

高齢になっても安心して住み続けることができるよう、地域全体で取り組んでいきたいと思います。



山口
地区

むさしヶ丘公民館

2月7日（土）、むさしヶ丘公民館で地区別公民館交流会が開催され、27名が参加されました。

むさしヶ丘区は、1973年（昭和48年）福岡県住宅供給公社による住宅分譲が始まり、1975年（昭和50年）むさしヶ丘自治会が設立されました。昨年末現在、934世帯、2238人が居住、4丁目の南側に143戸の住宅分譲が予定されています。



自治会の年間行事、公民館を利用したの団体・サークル活動を紹介する中で、筑紫野市でもいち早く「いきいきサロン」を立ち上げた事、訪問見守り会が令和5年2月福岡県知事より団体表彰を受けた事を発表しました。

筑紫野市が令和7年から導入を図ろうとしていた住民主体による介護予防・生活支援サービス事業に「生活応援隊」の活動が該当するのではないかと、令和7年7月の自治会役員会で導入を決定し、自治会活動として展開しています。

最後に、むさしヶ丘自治会独自の活動として、10年以上前に始めた「救急医療情報キット」の全戸配布による安心・安全の充実を図っている事を発表しました。

筑紫南
地区

筑紫南コミュニティセンター

2月8日（日）、筑紫南コミュニティセンターにおいて、研修会が開催されました。今回のテーマは、以下の3点でした。

- ① 地域福祉計画の概要について
- ② 地域福祉活動計画について
- ③ 筑紫地区別懇談会

地域共生社会を目指して市・社協・他関係機関で重層的支援体制整備事業について動いていることや更に地域の各団体やボランティア、民生委員、コミュニティや自治会等の連携協力が不可欠であり、今後も継続的な活動協力が必要とされていることがわかりました。



それぞれが行っている「つながりづくり」「居場所づくり」のための事業や活動を市や社協が共に連携することで、情報共有が強化され、地域におけるボランティア活動の推進、発掘、育成が進んでいくのだと感じました。再度自分の地域の活動に置き換えて協働・連携を更に充実させていくことが重要である事を念頭に今後の活動に取り組んで参ります。



御 笠
地区

御笠コミュニティセンター

2月15日（日）地区別公民館交流会が御笠コミセンに於いて開催され31名の方々の参加がありました。自治会長兼館長の富川氏からの発表です。

「ゴルフ場団地のこれから」と題して、自治会の歴史と概要、組織、活動についての発表がありました。

当自治会は約100世帯の規模であり、持ち家比率が高く、自治会加入率も98%です。

しかし公民館が無いという問題をどう克服していくかという最大の課題があります。

そのために本年度より公式LINEを開設し、手軽に情報を伝達できる手段として、回覧板の電子化と次年度以降のWi-Fiの区内無料化に取り組んでいます。また、役員についても現役世代に移行して行く流れが顕著であり、その業務軽減の為、区長代行業務制度の確立も目指すとの事でした。



発表後、ご意見をいただきました。

共通したご意見として、情報伝達手段と危機管理としての、自治会LINEの有効活用と運用及び不慣れな方のフォローや自治会加入率の低下と役員のなり手不足及び現役世代に対しての負担軽減をどうしていくのか？

この2つの大きな課題を今後も共通認識とし、検討していく事を確認し、発表を終了しました。最後に『何が地域愛着を育てるのか』と題した文献の読み合わせを行いました。

日々の暮らしの中での、ささやかな住民同士のやり取りが、信頼関係を生み出し、生活の楽しみや充実の一端を地域に見いだす事になる。そうした環境づくりを整える重要性を共有し、会を終了しました。

二日市東
地区

石崎公民館



2月28日（土）、令和7年4月に新築された石崎公民館で、多くの皆様のご臨席を賜り『二東自公連公民館交流会』を開催いたしました。

発表内容は、以下のとおりです。

○石崎公民館の建て替え

公民館建て替えにつきましては、公民館建て替えの敷地が松尾宮境内を借用していることから、神社庁との折衝に時間を要し、完成まで約7年の日時を費やした事や、建設現場の土壌が火山灰であった為、地下14メートルの岩盤に基礎杭を構築した事、この為、工事費用が膨大になった事、又そのための資金を調達することになった事等々の説明を実施いたしました。

○石崎公民館の新築内容

新築となった公民館は二つの会議室をはじめ、調理台が2台他機能的で清潔なキッチンエリアを確保した事、又清潔感のあるトイレを設置した事など、“機能的で素晴らしい公民館”として、地区の皆様から喜ばれています。

○石崎公民館の活動内容

公民館活動については、スライドショーで活動状況を紹介しながら、わかりやすく説明させていただきました。



【質疑応答】

質疑では地代（税金）等のご質問を受けましたが、当地は神社庁の敷地の為無料貸与されている事、神社の祭典等で社務所として使用している事等の回答をいたしました。又、他の地区からいろいろなご意見をいただきました。

何とか無事に発表会を終了できたことに『感謝』を申し上げます。

あなたの街のコミュニティ紹介

知って・参加して・担い手に

～御笠の広報活動～

御笠まちづくり協議会（以下、まち協）は、事業を随時周知するチラシと活動報告を中心とした「会報みかさ」（以下、「会報」・年4回）を全戸配布しています。

「会報」は、「御笠まち協ってなにしているの？なんの為に？」の地域の声を受けて、まち協副会長を編集長に、令和6年度からプロのデザイナーの助けを借りて作成しています。編集方針は、まち協の目的「住みやすい 住みつつきたい 明るい御笠のまちづくり」をめざして作成した御笠まちづくり推進計画を踏まえた事業の活動報告とふるさと創生活動に寄与するための企画ものの掲載です。

表紙イラストは季節感・まちづくりの啓発を踏まえた内容をデザイナーに具体的にお願いしていますが、書き直しや色合いの修正を数度重ねています。現在の企画ものは、「ディスカバー御笠～人・こと・声～」と「御笠歴史散歩」です。

御笠まちづくり協議会広報誌

2026 春号

会報
みかさ
— mikasa —

発信元: 御笠まちづくり協議会広報委員会
TEL: 092-408-6026
〒818-0004 筑紫野市大字吉木2496番地1
メール: mikasa.machi@gmail.com

みんなが
生き生き暮らす
御笠のまち!

入学式

自転車です

御笠 歴史散歩 vol.6

ディスカバー(発見)みかさ — みかさの人・こと・声 —

自家焙煎珈琲豆屋『ピチカート』

東吉木区の静かな住宅地の中に自家焙煎珈琲豆屋「ピチカート」があります。工房を訪ねると、焙煎したての珈琲の香ばしい香りと店主の松尾有希子さんの笑顔が迎えてくれました。店名の「ピチカート」は、弦楽器を指で引く奏法を意味

続いて、独学で工夫を重ねて生豆仕入れの目利き、豆の厳選、焙煎の技能を修得されて営まれていました。2020年のコロナ禍により珈琲ショップはやめて、焙煎豆専門店として現在に至ります。将来的には「コーヒーショップを再開店

— アイセンタ —

令和7年度 福岡県公民館実践交流会 宗像ユリックス

令和8年1月22日（木）各地域における実践活動の成果や課題について互いに情報交流を深め、今後の公民館等の活動を一層充実させることを目指して開催されました。

4会場に分かれて8テーマが発表されましたが、その中から2テーマを紹介します。参加者は650名で筑紫野市から13名が参加しました。



大川市ふれあいの家

地域活性化に向けた自治的活動

～「夏休みラジオ体操」活動を通して～

【事業目的】

町内公民館・校区コミュニティ・大川市における「夏休みラジオ体操」活動を通して、健康づくり及び親睦と融和を目指し、地域活性化を図る。

【事業内容】

形骸化していたラジオ体操の主管を町内（公民館）、又は子ども育成会と連携しての開催とする。町内公民館役員等で役割を担い、担当振替日の子ども育成会の負担を軽減するなどの改善策により、夏休みラジオ体操が、子どものためだけでなく、町内の方々の絆を深め、地域コミュニティの活性化につながる一つのアイテムになる。

小郡市みくに野団地公民館

公民館カフェでつながる地域の輪

～ 公民館を拠点とした住みよいまちづくり ～

【事業目的】

高齢化・坂道が多いなどの地域課題への対応、及び世代間交流の促進・地域防災力の向上

【事業内容】

「公民館を魅力ある場所にする」ため、誰もが気軽に利用できる「公民館カフェ」を開催。具体的な実施内容として、

①作品展示コーナー

②音楽演奏会

③団地をテーマとした〇×クイズなど

（年4回 106名参加）

公民館主催講座開催実績

令和元年度～7年度における公民館主催講座の開催実績について集約しました。コロナ禍の影響で、令和2年度から開催数が減少しましたが、収束に伴って徐々に開催数が増加し、令和7年度は48講座が開催され、講座内容は、教育・教養・実用・文化関連など多岐にわたっており、学びをとおして地域のつながりづくりを進めています。

（令和7年度開催状況）

48講座 19 公民館
総参加者 804 名 （子ども:185 成人:193 高齢者:426）

【開催状況】

年度	講座 開設数	二 日 市	二 日 市 東	山 口	御 笠	山 家	筑 紫	筑 紫 南
R1	36	6	3	3	3	2	10	9
R2	15	0	3	1	0	0	6	5
R3	14	0	0	1	1	2	4	6
R4	24	1	3	0	4	0	6	10
R5	25	3	0	2	5	0	8	7
R6	34	4	0	1	12	0	10	7
R7	48	18	1	0	12	1	11	5



〈参加者の一言〉

- ・サロンと子ども会が音楽や音楽ゲームを通じて一緒に楽しみ、高齢者にとっての生きがいと子どもたちの大人への敬意と尊厳が生まれました。
- ・中学生から高齢者までの幅広い世代が参加し、世代間交流の場となりました。

公民館紹介

石 崎 公 民 館

石崎公民館は筑紫野市役所から徒歩3分、西鉄朝倉街道、JR 天拝山から各々5分と立地としては恵まれた位置に所在しています。

公民館は令和7年4月に新築落成しました。これからは石崎住民の交流拠点になることを目標に、開かれた公民館を目指します。

公民館は松尾宮の境内にあり、地域の活動（夏祭り・敬老会・餅つき大会）や松尾宮の神事が執り行われます。11月には「しめ縄作り」も実施します。グランドゴルフ等サークル活動も盛んに実施しています。

★公民館利用状況★

- ・毎月、1日と15日は
【いきいきサロン活動】
物作り・寄せ植え・グランドゴルフ
健康講座等・ぜんざい会・バスハイク等
- ・毎週木曜日 10時～12時
【太極拳】
二日市東コミセン文化祭で披露しています



【年間行事と写真】

- | | |
|-----|-----------------|
| 4月 | 石崎公民館総会 |
| 4月 | 松尾宮神事 |
| 7月 | 夏祭り・松尾宮およど |
| 9月 | 敬老会 |
| 10月 | 二日市東小学校区
体育祭 |
| 11月 | 松尾宮しめ縄作成
神事 |
| 12月 | 年末特別防犯巡回 |
| 1月 | 餅つき大会 |



ちくし台 公 民 館

ちくし台団地は昭和50年代よりゆるやかな団地に住宅が建てられて、最寄りの駅は西鉄筑紫駅で筑紫区第3区自治区としても活動しています。

高齢者世帯が多い中、最近は若い世帯が徐々に増えている状況です。公民館は、団地入口より左奥に位置し、大広間・和室・調理室で構成され定期的に理事会・組長会・子供会・鶴寿会（老人会）等の活動や認知症サポーター養成講座・防火訓練が年間を通し実施されています。

